

第1号様式（第4条関係）

<助成事業実施計画書>における記載例に挙げた企業は、架空のものであり、【記入ポイント】を基にした一例のため、記載方法については、本例によらなくても良いです。

※提出の際は、各記載項目の注意書き（補足説明文）は削除してください。

平成30年 3月 1日

公益財団法人岐阜県産業経済振興センター
理事長 様

| | | |
|---------------|------------------------|----------|
| 住 所 | 〒500-8505 | |
| | 岐阜県 岐阜市藪田南5丁目14番53号 | |
| 申請者名 (企業名) | 株式会社 産経センター | |
| 代表者 | 役職 | 代表取締役 |
| | 氏名 | 産経 花子 |
| | | 代表者 印 |
| | | 印 |

※登記簿謄本等から正確に記入してください。

平成30年度 公益財団法人岐阜県産業経済振興センター
新ビジネス展開応援事業費助成金交付申請書

次のとおり標記助成金の交付を受けたいので、新ビジネス展開応援事業費助成金交付要領第4条の規定により下記関係書類を添えて申請します。

記

| | |
|------------------|---|
| 事業計画名 (30字以内) | (事業内容を簡潔に表現する名称としてください。) 〇〇技術を活用した×××製品の試作開発事業 |
| 助成事業期間 | 交付決定日 ~ 平成 31 年 2 月 1 日 |
| 助成金 交付申請額 | (収支予算書(第1号-3様式)の「助成金申請額A」の千円未満の端数を切り捨て) 金 2,000 千円 |

<申請者の概要>

| | | | | | | |
|--|---|-----------------------------|-----|-------------|----|--------------|
| 申請者名 (企業名) | (フリガナ) カブシキガイシャ サンケイセンター 株式会社 産経センター | | | | | |
| 資本金 | 〇〇千円 | 創業/設立年月日 | | S 〇〇年 〇月 〇日 | | |
| ホームページ アドレス | | http://www.gpc-gifu.or.jp/ | | | | |
| 役員・従業員数 | 役員 | 従業員(人) | | | | 左記のうち 正社員 |
| | | 事務系 | 営業系 | 技術系 | 合計 | |
| | 2 | 2 | 2 | 2 | 6 | 8 |
| 決算状況 (直近2期分) ※千円未満切り捨て | 区分 | (直前期) H 28年 〇月期 | | H 27年 〇月期 | | |
| | 売上高 | 〇〇千円 | | 〇〇千円 | | |
| | 経常利益(法人のみ) | 〇〇千円 | | 〇〇千円 | | |
| | 当期利益(法人のみ) | 〇〇千円 | | 〇〇千円 | | |
| 主な事業内容 (主な取扱製品 又はサービス内容) | <p>(既存取扱製品) や (主要取引先) などを踏まえ具体的に記入すること</p> <p><記載例></p> <p>当社は、昭和〇〇年に創業した繊維企業であり、創業以来、紡績・染色・加工縫製を中心に繊維製品の製造販売を行っている。当社の製造品目については、トップス、ズボン、スカートなどといった一般衣料品、タオル、寝具、布団、シーツといった生活雑貨品が主である。</p> <p>主要な取引先は、〇〇〇〇〇〇〇、〇〇〇〇〇〇〇であり、売上の〇〇〇%を占める。また、当社は、OEM 生産を行っており、同じく売上の〇〇〇%を占め、OEM に強く依存した事業運営を行っている。</p> | | | | | |
| 経営上の強み (技術・経営 ノウハウ等に関する 自己アピール) | <p>(保有資格) などを踏まえ具体的に記入すること</p> <p><記載例></p> <p>当社は、昭和〇〇年に創業した繊維企業であり、創業以来、紡績・染色・加工縫製を中心に繊維製品の製造販売を行ってきた背景により、独自の加工縫製技術を持っている。この加工縫製技術には、特許権を取得しており、他の追随を許さないと自負している。</p> | | | | | |
| 経営環境及び 現在の課題 | <p><記載例></p> <p>安価な外国製品により、売上が減少し、現在は、赤字の状態が続いている。このことは、また、創業以来、大手メーカーの OEM (※1) として、タオル等の生活雑貨の OEM 生産を行ってきたが、同じく安価な外国資本により、OEM 比率が低下しているのが現状である。</p> | | | | | |
| 事業を実施 する場所 ※工場、支店等ある 場合に記入 | <p>〒</p> <p>岐阜県</p> <p>(申請者 住所と同じ)</p> | | | | | |
| 担当者 | 役職 | 主任 | | | | |
| | 氏名 | (フリガナ) サンケイ ユウタロウ 産経 悠太郎 | | | | |
| 所属部署名 | 経営支援部 資金課 助成金担当 | | | | | |
| 電話番号 | (058) 277 - 1083 | | | | | |
| FAX番号 | (058) 277 - 1095 | | | | | |
| E-mail アドレス | fund-m @ gpc-gifu.or.jp | | | | | |

<役員等に関する事項> (法人用)

(非常勤及びその他これに類する地位にある方並びに経営に実質的に関与している方)

| 一社の大企業又はその役員からの50%以上の出資の有無 | | | 無 | |
|----------------------------|----------------------------------|----|----------|------------------|
| 職名 | ふりがな 氏名 | 性別 | 生年月日(和暦) | 会社名 ※他社と兼務の場合 |
| 代表取締役 | 産経 花子 <small>さんけい はなこ</small> | 女 | SO年O月O日 | 兼務なし |
| 監査役 | 産経 篤 <small>さんけい あつし</small> | 男 | SO年O月O日 | 兼務なし |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

※助成事業の適切な執行を確保するため、申請事業者等が暴力団等に関する者でないかを関係機関へ照会する場合があります。

<助成対象の事業段階>

(該当する段階に【O】を付して下さい)

| | |
|--------------------------|---|
| 第1段階(可能性調査研究等) | |
| 第2段階(新商品・新サービス・新技術研究開発等) | O |
| 第3段階(新市場挑戦) | O |
| 第4段階(フォローアップ) | |

※第一段階だけの申請はできません。

※同一事業について、3年以上の継続申請はできません。(同一段階での継続申請はできません)

＜助成事業実施計画書＞

新商品・新サービスの概要・特徴

事業計画名に則って、現状の課題を明確にし、「ここが新ビジネスである」というポイントについて、調査の内容、研究・生産・特許等の技術的な優位性、新規性、独創性、自社従来製品及び競合他社製品との比較、販売方法・サービス提供方法等について分かるように記載してください。）

【A：現状の課題】

【記入ポイント】

①当社の事業概要（簡潔に）

②当該事業計画を申請するに至った（当該申請事業に取り組もうとする）背景・目的を記載する。なお、背景記載する際の根拠データについては、出典を明らかにする。

③②を踏まえて自社の強みとする技術・サービスは何か。また自社の弱みとは何かを分析ができている。

④専門用語については、別途「※1、※2・・・」として、簡潔に説明を付すこと。この説明についても、出典を明らかにする。

＜記載例＞ 骨格として、参照にさせていただき、さらに内容をふくらませて下さい。

当社は、昭和〇〇年に創業した繊維企業であり、創業以来、紡績・染色・加工縫製を中心に繊維製品の製造販売を行っている。当社の製造品目については、トップス、ズボン、スカートなどといった一般衣料品、タオル、寝具、布団、シーツといった生活雑貨品が主である。

自社の現状を示したものが下記である（様式任意）。

| 強み Strength | 弱み Weakness |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・当社、昭和〇〇年創業の紡績・染色・加工縫製を中心に繊維製品の製造販売を行っていたので、長年の縫製技術を持っている。 ・当社の製造品目については、トップス、ズボン、スカートなどといった一般衣料品が中心だったため、衣料品の縫製は得意である。 ・縫製に関する特許を保有している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・開発資金が大手メーカーに比べると少ない。 ・マーケティングに割く費用が十分でない。 ・広告に割く費用が十分でない。 ・開発にあたっては、生産設備が必要である。 ・既存の商品展開の行き詰まり |
| 機会 Opportunity | 脅威 Threat |
| <ul style="list-style-type: none"> ・寒いときに、多くを着込んで、着膨れするのは嫌う傾向がある。ファッション性を重視する。 ・男女ともに、インナーの機能を重視する統計がある。 ・インナーにお金をかけてでも、機能が高いものを選びたいという風潮がある。 | <ul style="list-style-type: none"> ・繊維業界は、安価な外国製品に押されつつある。 ・OEMについても、安価な外国労働市場へ流れつつある。 |

本申請にあたって、自社の分析を行ってください。例えば

①強み・・・自社の保有している技術や長年培ったノウハウのこと

②弱み・・・自社が今抱えている悩み、内製化できないその理由

③機会・・・今の市場（消費者）が欲しがっているもの

④脅威・・・自社の環境（市場）の厳しさ、今後将来的に予想される自社にとって不利な要因。これらをもとに、

です。自社の課題（すべきこと）を明らかにしてください。

当社をめぐる環境は、安価な外国製品によりじわりと売上が下降線をたどり、現在は、赤字の状態が続いている。このことは、図1に示すように、繊維製品の貿易相手国で見ると、衣服分野での中国のシェアの大きさが明らかである。また、創業以来、大手メーカーのOEM（※1）として、タオル等の生活雑貨のOEM生産を行ってきたが、同じく安価な外国資本により、OEM比率が低下しているのが現状である。

このような現状を克服するためには、独自の高性能製品の開発化することにより、安価な外国製品に太刀打ちできる商品展開を可能となることにより、従来のOEMに依存した生産体制からの脱却を図る必要がある。

そのためには、当社には、創業当時から蓄積してきた紡績・染色・加工縫製技術を活かし、高性能の新素材繊維の開発してきたノウハウがあり強みである。また、産官学での連携を積極的に進めており、他からの技術支援を受けられる体制が整っている。

このことにより、強みを活かした新商品開発に取り組んでいきたいと強く思っている。

（※1）OEM＝自社製品の相手先ブランドによる生産、供給を指す。（（株）朝日新聞出版発行「知恵蔵より」）。

グラフ

市場の動向については、申請される本事業の「新ビジネス」についての可能性の高さを示す大切な根拠資料の一つになります。

関係する省庁等でさまざまな統計が出されているので、出典を明らかにした上で、ご記載ください（無断掲載厳禁）。図表には、番号を入れてください。

図1 繊維製品の貿易相手国

【B：「ここが新ビジネスである」という優位性、新規性、独創性等について】

| | | |
|--------|---------------|---|
| 既存との違い | ア 新製品・新サービス開発 | ○ |
| | イ 新市場開拓 | |
| | ウ ア+イの両方 | |

【記入ポイント】

①当社が開発する製品の特徴

②①をふまえて従来の製品とどのように違って、どの点に優れているのか、（1）優位性（他社製品との）、（2）新規性（その新製品・新サービスについてどこが新しいのか）、（3）独創性（その新製品・新サービスについて、どの部分が従来、研究開発されていなかったか。その研究開発をすることが当該新製品・新サービス開発の独創性につながることを示す。）

<記載例>

当社は本事業において計画しているのは、新製品の開発である。開発する製品は、機能性インナーの開発である。下記の写真は、現在のインナー（写真1）と、開発予定のインナー（予定）（写真2）である。



般のインナーとは違う点をメディアでPRしていく。具体的な、メディア展開としては、○○情報誌、ホームページ上の動画紹介、新聞、ラジオ、テレビなど。

現在、自社製品の販路先に、新製品を特別価格で卸す交渉を行うことにより、購入者の意見を取り入れたさらなる商品開発とともに、SNS等の口コミ展開も活用する。

具体的な事業内容 (ものによっては、イラスト・写真等を挿入して分かりやすく表示記載してください)

【第1段階】可能性調査研究等

【記入ポイント】

①提供する商品・サービスについて、「新ビジネス」としての市場での可能性を確認するための手段ですので、どのような調査を目的に展示会等に出展するのかを記載してください。

②展示会などの出展については、その展示会がどのような規模で開催されているのか概要等も記載してください。

<記載例>

当社製品が、市場にどの程度受け入れられるか、展示会に出展することにより、具体的にバイヤー等の意見を聞くことにより調査を実施する。このことにより、商品の真の価値や、潜在的なニーズを世に問うことができるというメリットがある。

出展を予定する展示会は下記のものである。

【展示会名】○○○○○○○

【開催場所】○○○○○○○

【開催期間】○○○○○○○

【開催概要】○○○○○○○

【前回データ】 出展社数 ○○○ 来場者数 ○○○○○○○○

【第2段階】新商品・新サービス・新技術研究開発等

(調査、原材料の加工、製造、デザイン等については自社開発か外部への委託か、わかるように記載してください。)

【記入ポイント】

①提供する新商品・新サービス等について、自社開発の場合は、自社設備等の写真を貼り付けることにより、設備や製造ラインが整備されていることを明らかにしてください。

②外部委託の場合は、自社にどの部分(部署、実施体制、技術導入部分)が不足しており、外部委託で、どの部分を、開発計画の一端を担うのかを明らかにしてください。

<記載例>

当社の加工技術により、材料である繊維素材の加工、縫製の一貫した製造により新商品を開発することが可能であり、写真5、写真6にあるように、設備、製造ラインは整備されている。

しかしながら、繊維素材について、保温性を確かめる実証実験や、製品の強度等の実験については、当社では実施できないため、製品の性能実験については、○○○○○○○○○に委託する。



写真

写真5 設備写真



写真

写真6 製造ライン

【第3段階】新市場挑戦

(販路拡大方法は、展示会出展か広告・チラシかインターネット掲載なのか、具体的な取組方法を記載してください。)

【記入ポイント】

①上記の販路拡大方法のうち、どの方法で行うのかわかりやすく記載してください。

<記載例>

本事業における新商品・新サービスの展開にあたっては、事前のマーケットを踏まえた上で、下記の展示会に出展する。本展示会は、この業界における国内最大の展示会であり、当社の新商品・新サービスに対して関心が強いと思われるバイヤーが来場すると思われる。まずは、国内でのマーケットの需要を把握することにより、今後、海外出展も見据えた情報収集も行っていきたい。

出展を予定する展示会は下記のものである。

【展示会名】○○○○○○○

【開催場所】○○○○○○○

【開催期間】○○○○○○○

広告・チラシについては、消費者にとって、目を引くことも大切だが、提供する新商品・新サービスのブランドイメージを大切にしたいものを、委託するデザイナーと協議して作成したいと考えている。

作成枚数は○○○○枚。また、配布先は、下記を想定する。根拠は、顧客ターゲットが集まりやすい○○○○が想定される。効果として、○○○○が挙げられる。

| 配布先 | 枚数 |
|------|-----|
| ○○○○ | ○○枚 |
| ○○○○ | ○○枚 |
| ○○○○ | ○○枚 |

【第4段階】フォローアップ

※該当なし

実施体制

(新商品・新サービス開発に関わる関係者を記載して下さい。社内に限らず、外部協力先や専門家による指導、認定支援機関等もあれば具体的に記入)

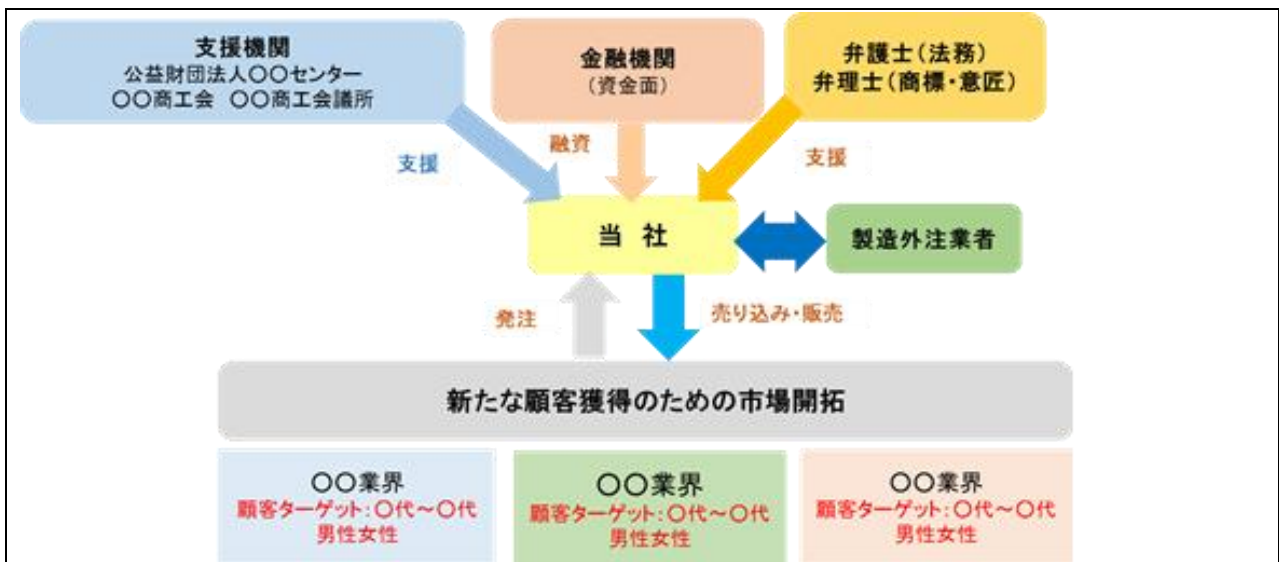
【記入ポイント】

①自社を中心とした実施体制を図示すると良いです。

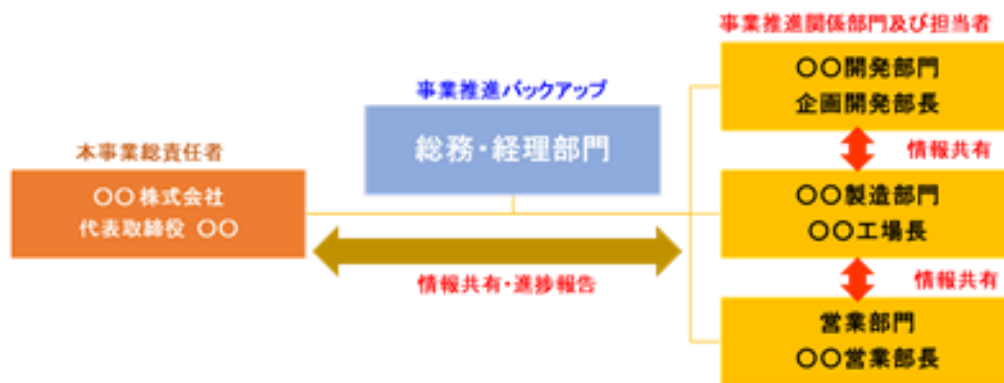
②各機関、協力・提携業者が本事業においてどのような役割を果たすかを記載してください。

<記載例>

実施のための体制として下記に示す。当社の販路・資金・権利関係の補完体制として、支援機関、金融機関より○○○の助言を得る。金融機関からは、今回の補助事業にかかる融資を受けるとともに、今後の事業展開のための業界の情報を得る。また、本事業における特許出願を進めるため、弁理士から権利化等の強化を図り、外部からの模倣被害にも対応できるようにする。あわせて、製造工程の○○○部分について、外注業者に対しての業務委託契約を締結して、製造を行う。



社内体制について



本事業の発展性、地域への貢献、波及効果など

(事業実施の必要性や、期待される地域への波及効果について具体的に記入してください)

【A：事業実施の必要性】

【記入ポイント】

- ①提供する商品・サービスについての思いを記載してください。
- ②提供する商品・サービスの有益性（社会にどのような好影響を与えるか）を記載してください。

<記載例>

当社の新製品により、女性にとって冬服は、暖くなる為に厚手の洋服や洋服を重ね着により、着膨れすることが多かったが、薄着でも暖かく、また、薄手の洋服の下にも着用できることで、ファッションをより楽しむことが可能となり、男性にとっても、同様なことがいえる。将来的には、タイツやレギンスにも商品アイテムのバリエーションを増やすことによって、足元の防寒対策も、取り入れやすくなり、より暖かさが増していくことが可能となり、個人のファッションアイテムの幅が広がり、購買意欲も高まると考えられる。

また、過度な暖房の利用も減少し、電気利用量の増加にも配慮したエコロジーな製品であるといえるため必要である。

【B：期待される地域への波及効果】

【記入ポイント】

①提供する商品・サービスについて、地域における協力者や業務提携先がある場合は、本事業における役割とともに記載してください。

②地域の現状をふまえて、提供する商品・サービスの売上等が、地域経済等にどのような好影響をもたらすことができるかを記載してください。

＜記載例＞

衣料品分野そのものが、安価な外国製品と戦わなければならない現状において、当社の新製品により、あらたな領域として、消費者に認知されると想定される。当社独自技術の製品のため、価格交渉についても売り先と対等に行うことができるため、一定の利益を確保することができる。

このことにより、製造の増産が見込まれるため、地域の雇用を確保することによって、地域経済の活性化を図る。

本事業の発展性、地域への貢献、波及効果など

(事業実施の必要性や、期待される地域への波及効果について具体的に記入してください)

主な工程ごとのスケジュール(新商品・新サービス開発で予定している主な工程ごとのスケジュールを記載して下さい)

| 取組内容 | 事業実施期間（交付決定日から実績報告書の提出まで） | | | | | | | | |
|--------------|---------------------------|----------|----|----|---------|-----|----------|-----|------|
| | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 |
| 第2段階 商品開発 | | | | → | | | | | |
| 第3段階 販路開拓 | | 展示 会 | | | 展示 会 | | | | |
| | チラ シ | 雑誌 掲載 | | → | | | HP作 製 | | |
| 実績報告書最終提出 | | | | | | | | | 1/20 |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |

成果目標と助成事業終了後の事業スケジュール

助成事業終了後の事業化（開発した新商品・新サービスの販売）に至るまでのスケジュール、売上見込 売上高、経常利益、新たな雇用者数、事業化の時期（新商品開発の場合）、起業化の時期（起業支援事業の場合）等の目標を記載して下さい。

(生産・販売等計画、利益見込み等、数値等を用いて具体的に記載してください。)

| ※必要に応じて項目を追加して下さい↓(助成対象事業分について記載) | 助成期間 終了 | 助成金事業終了後の事業化計画 | | | | |
|-----------------------------------|------------|----------------|------|------|------|------|
| | | 1年後 | 2年後 | 3年後 | 4年後 | 5年後 |
| | 30年度 | 31年度 | 32年度 | 33年度 | 34年度 | 35年度 |
| 販売目標 (単位：個、人) | 〇〇個 | 〇〇個 | 〇〇個 | 〇〇個 | 〇〇個 | 〇〇個 |

| | | | | | | |
|-----------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 売上目標 (単位：千円) | 〇〇千円 | 〇〇千円 | 〇〇千円 | 〇〇千円 | 〇〇千円 | 〇〇千円 |
| 売上目標の算出根拠 | @単価× 〇〇個 | @単価× 〇〇個 | @単価× 〇〇個 | @単価× 〇〇個 | @単価× 〇〇個 | @単価× 〇〇個 |
| 利益見込 (単位：千円) | 〇〇千円 | 〇〇千円 | 〇〇千円 | 〇〇千円 | 〇〇千円 | 〇〇千円 |
| | | | | | | |

＜該当があるものについて記載して下さい＞

【A】 外部への委託

※外部への委託がある場合は、委託内容等を記載してください。

※複数該当する場合は表を追加してください。

| | |
|------|--|
| 委託先 | (予定先) 株式会社△△△ |
| 委託内容 | (仕様書、契約書等があれば添付して下さい) ホームページの作成 |
| 委託金額 | (見積書、チラシ、インターネット上参考となるものの印刷物等を添付して下さい) 324,000 円 (税込) |
| 委託理由 | 作成実績があり、データの流用が可能なため |

【B】 展示会出展

※展示会出展がある場合は、展示会の内容等を記載し、展示会チラシ、インターネット上参考となるものの印刷物等内容がわかる資料を添付して下さい。

※複数該当する場合は表を追加してください。

| | | |
|------|--|--------------------------|
| 展示会名 | XX 国際見本市 | |
| 開催場所 | 会場名 | ポートメッセなごや |
| | 住所 | 愛知県名古屋市中区金城ふ頭2丁目2 |
| 開催期間 | 平成30年6月8日～6月10日 | |
| 事前申込 | <input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無 | |
| その他 | 過去に、上記の展示会に出展したことが | |
| | <input type="radio"/> | ある (これまでに 2 回、出展したことがある) |
| | <input type="radio"/> | ない (今回の出展が初めてである) |

| | | |
|------|--|------------------------|
| 展示会名 | 東京ギフトショー | |
| 開催場所 | 会場名 | 東京ビッグサイト |
| | 住所 | 東京都江東区有明3丁目11-1 |
| 開催期間 | 平成30年9月5日～9月8日 | |
| 事前申込 | 有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無 | |
| その他 | 過去に、上記の展示会に出展したことが | |
| | <input type="radio"/> | ある (これまでに 回、出展したことがある) |
| | <input type="radio"/> | ない (今回の出展が初めてである) |

【C】 事業可能性評価事業について

※産経センターが実施する「事業可能性評価委員会」でA評価を受けた方は、A評価の事業内容と申請事業との関係に○をつけてください。

| ↓該当するものに○ | | | | |
|-----------|---|------------------------------------|----------------|--|
| 1 | ○ | これまでに「事業可能性評価」に申請したことがない | | |
| 2 | | これまでに「事業可能性評価」に申請したがA評価を受賞できなかった | | |
| 3 | | これまでに「事業可能性評価」にて事業可能性A評価を受賞したことがある | 受賞年月日 H 年 月 | 本助成金に申請の事業は、A評価を受賞した事業 (事業名：) である |
| 4 | | | 受賞年月日 H 年 月 | 本助成金に申請の事業は、A評価を受賞した事業 (事業名：) から派生した事業である |
| 5 | | | 受賞年月日 H 年 月 | 本助成金に申請の事業は、A評価を受賞した事業 (事業名：) とは別事業である |

【D】 他の補助金・助成金の交付実績(過去2年以内)

及び当該年度の助成金の申請状況(予定を含む)

※今回の応募テーマと同一テーマ、同一事業にて他の助成金・補助金を活用している場合は、本助成金は採択されません。また、他の助成金・補助金を申請中の場合で、採択された場合は、どちらかの助成金・補助金を活用するかを選択し、速やかに報告してください。助成事業の適切な執行を確保するため、他の補助金について関係機関へ照会する場合があります。

※複数該当する場合は表を追加してください。

| | | | |
|--------------------|--------------------------|--|---------|
| 補助金・助成金名 | 新ビジネス展開応援事業助成金 | | |
| 助成対象期間 | H28年 4月 22日 ~ H29年 2月 1日 | | |
| 事業名 | 〇〇技術を活用した×××製品の試作開発事業 | | |
| 交付決定額 / 申請を予定している額 | | | 2,000千円 |

| | | | |
|--------------------|--------------------------|--|---------|
| 補助金・助成金名 | 岐阜県地域活性化ファンド | | |
| 助成対象期間 | H29年 4月 1日 ~ H30年 1月 31日 | | |
| 事業名 | 〇〇技術を活用した×××製品の販路開拓事業 | | |
| 交付決定額 / 申請を予定している額 | | | 1,000千円 |

【E】 本助成金の応募のきっかけについて

| ↓該当するもの全てに○を付けてください | | | | |
|---------------------|----------------------|---------------------------|---------------------|---------------|
| 1 | (公財)岐阜県産業経済振興センター より | | | |
| | ○ | A | (産経センターの)HPより | |
| | ○ | B | (産経センターの)メールマガジンより | |
| | | C | (産経センターの)セミナーより | セミナー名 () |
| | | D | (産経センターの)コーディネーターより | コーディネーター名 () |
| | E | A評価者への通知より | | |
| 2 | | 商工会・商工会議所より商工会・商工会議所名 () | | |

| | | |
|---|---|---------------------------------------|
| 3 | | 金融機関（銀行等）より金融機関名（ ）・支店名（ 支店） |
| 4 | | 県庁（出先機関）より |
| 5 | | ソフトピアジャパンより |
| 6 | ○ | 過去に新ビジネス展開応援事業助成金を申請したことがあり、以前から知っていた |
| 7 | | その他具体的に記入してください（ ） |

第1号-3様式（第4条関係）

＜収支予算書＞

◆収入の部（単位：円）

※助成金の支払は事業終了後の精算払いとなりますので、事業期間中、助成金相当分の資金を確保する必要があります。

| 事業全体に要する経費調達一覧 | | 資金調達方法 | | |
|---------------------|---------------|--------------------------------|-------|-------------|
| 区 分 | 事業に要する経費 | | | |
| 助成金 交付申請額 (B) | 2,000,000 (B) | ⇒ 助成金を 受けるまでの 資金調達内訳 (B) | 自己資金 | 2,000,000 円 |
| | | | 借入金 | 0 円 |
| | | | 計 (B) | 2,000,000 円 |
| 自己資金 | 1,895,720 | | | |
| 借入金 | 1,000,000 | (金融機関名等あれば記入) ○○銀行××支店 | | |
| 合 計 (A) | 4,895,720 (A) | | | |

◆支出の部（単位：円）

| 【段階】 経費区分 | 費目 | 助成事業に 要する経費 | 助成対象 経 費 | 助 成 金 申 請 額 | 積 算 の 内 訳 |
|---|----------------|----------------|-------------|----------------|--------------------------------|
| | | (税込み) | (税抜き) | (税抜)×1/2 | |
| 【第2段階】 | | | | | |
| ①研究開発費 | 外注加工費 | 324,400 | 300,000 | 150,000 | |
| ①研究開発費 | 原材料費 | 32,400 | 30,000 | 15,000 | 原料A |
| ①研究開発費 | 原材料費 | 54,000 | 50,000 | 25,000 | 原料B |
| ①研究開発費 | 原材料費 | 108,000 | 100,000 | 50,000 | 原料C |
| ②機械装置・工具 器具費 | 機械装置・工 具器具費 | 2,376,000 | 2,200,000 | 1,000,000 | ○○機 リース料 (@237 ,600/月×10ヶ月) |
| <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; display: inline-block;"> 機械装置・工具器具費の助成限度額は100万円 まで（新規人件費、委託費も同様） </div> | | | | | |
| 【第3段階】 | | | | | |
| ②広告宣伝費 | 事務費 | 162,000 | 150,000 | 75,000 | 雑誌○○○○掲載料（ @54,000/月×3ヶ月分） |
| ②広告宣伝費 | 事務費 | 216,000 | 200,000 | 100,000 | パンフレット印刷製本費 (@108×2,000部) |
| ②広告宣伝費 | 事務費 | 540,000 | 500,000 | 250,000 | パンフレットのデザイン 料（謝金） |
| ②広告宣伝費 | 委託費 | 324,000 | 300,000 | 150,000 | ホームページ作成料 |

| | | | | | |
|----------------|-----|------------------|-----------|------------------|--|
| ③国内外展示会 出展費 | 事務費 | 216,000 | 200,000 | 100,000 | 出展コマ料 (XX国際見 本市@ポートメッセなご や 6/8~6/10) |
| ③国内外展示会 出展費 | 旅費 | 46,120 | 42,704 | 21,352 | 岐阜羽島~東京ビッグサ イト (片道11,530×2名) |
| ③国内外展示会 出展費 | 旅費 | 10,800 | 10,000 | 5,000 | (東京ギフトショー 9/ 5~9/8) ホテル宿泊料 (3泊×2名) |
| ③国内外展示会 出展費 | 事務費 | 216,000 | 200,000 | 100,000 | 出展コマ料 (東京ギフ トショー@東京ビッグサ イト 9/5~9/8) |
| ③国内外展示会 出展費 | 事務費 | 108,000 | 100,000 | 50,000 | 出展装飾料 (東京ギフ トショー@東京ビッグサ イト 9/5~9/8) |
| ③国内外展示会 出展費 | 事務費 | 54,000 | 50,000 | 25,000 | 出展電気料 (東京ギフ トショー@東京ビッグサ イト 9/5~9/8) |
| ③国内外展示会 出展費 | 事務費 | 108,000 | 100,000 | 50,000 | 出展物の配送費 (往復) (事務所-東京ビッグサ イト間) |
| | | | | | |
| 合 計 | | 4,895,720 (A) | 4,532,704 | 2,000,000 (B) | |

旅費は2名まで

助成対象経費 × 1/2

合計は千円未満切り捨て (上限は200万円)

<事前着手理由書>

| | |
|-------------------|--|
| 事業の内容 | XX国際見本市への出展 |
| 事前申し込み締切日 (予定) | 平成30年4月5日 |
| 事前着手が 必要な理由 | 〇〇〇分野の展示会であるXX国際見本市への出展には、平成30年4月5日までに申し込みが必要なため |
| 支払(予定)額 | 216千円 |
| 支払(予定)日 | 平成30年5月1日 |

※経費の内容、積算、支払額、支払日等具体的な内容がわかる資料を添付してください。

(注)

・着手時期は、原則として交付決定のあった日以降です。
ただし、展示会出展申し込み等、交付決定日以前に行う場合には、事前着手理由書を申請書に添付していただきます。
(採否について審査します。費用の支払いは交付決定日以降に限ります。それ以前に支払のあったものについては、助成金対象外とします。)

＜申請書提出時の確認について＞

申請書について、確認の上、チェック欄に○印をつけてください。

※別途、補足書類についての「申請時チェックリスト」（署名要）があります。お忘れなないように提出をお願いいたします。

【1】第1号様式 について

| | | チェック |
|---|---|------|
| 1 | 事業計画名 事業名は事業内容を簡潔に表現する名称を30字以内で記入されていますか | ○ |
| 2 | 助成対象の事業段階 申請される助成対象の事業段階に○印が付してありますか (第1段階のみの実施は助成対象外です) | ○ |
| 3 | ＜申請者の概要＞について 決算状況は決算書と一致していますか | ○ |
| 4 | ＜申請者の概要＞について 従業員の役員数は役員等に関する事項（法人用）と一致していますか | ○ |

【2】第1号様式－3様式 <収支予算書>について

| | | チェック |
|---|--|------|
| 1 | 収支の合計は一致していますか (助成交付申請金額は対象経費のみ、1,000円未満切り捨て) | ○ |
| 2 | 助成金申請額の合計金額(B)＝助成対象経費の合計金額 × 1/2 となっていますか (※以下、【3】の経費別充当率(上限)に該当する場合を除く) | ○ |
| 3 | 見積書・価格表等と金額が整合していますか | ○ |
| 4 | 経費が【別表2】記載の対象項目に該当していますか | ○ |
| 5 | 備品購入費は、汎用性が高く、使用目的が特定されないもの等は助成対象経費から除外してありますか(パソコン、エアコン、レジ、冷蔵庫、事務機などのオフィス家具等) | ○ |

※既存人件費、建設費、食糧費(会議における飲食費)、振り込み手数料、各種添付書類の発行手数料及び消費税は助成対象外

【3】経費別充当率(上限)について

| | | チェック |
|---|---|------|
| 1 | 新規人件費 助成金申請額100万円以内 (助成対象経費200万円×1/2の金額)となっていますか | 該当なし |
| 2 | 設備費 (機械装置・工具器具費等) 助成金申請額100万円以内 (助成対象経費200万円×1/2の金額)となっていますか | ○ |
| 3 | 委託費 助成金申請額100万円以内 (助成対象経費200万円×1/2の金額)となっていますか | ○ |
| 4 | 産業財産権取得費 助成金申請額50万円以内 (助成対象経費100万円×1/2の金額)となっていますか | ○ |

【4】申請書全体について

| | | チェック |
|---|-------------------------------|----------|
| 1 | ページ数 交付申請書には、ページ数を付してありますか | 全 17 ページ |